

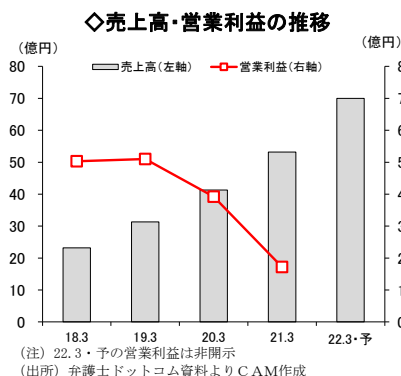
企業ニュース 弁護士ドットコム

(東証マザーズ：6027) <https://www.bengo4.com/corporate/>

作成者：村上大志

クラウド型電子契約サービス「クラウドサイン」を提供

2005年設立。日本最大級の法律相談ポータルサイト「弁護士ドットコム」を運営する。同サイトには国内弁護士の約半数が登録しており、月間訪問者数は1,000万人を超える。有料会員の登録弁護士に様々な支援サービスを提供するほか、一般ユーザーが有料会員になるとトラブル事例の相談・回答内容の閲覧が可能となる。そのほか、紙や印鑑を使用しないクラウド型の電子契約サービス「クラウドサイン」を提供する。同サービスは脱ハンコの需要を追い風に拡大中。21.3期サービス別売上高構成比は弁護士支援44%、有料会員11%、クラウドサイン30%、税理士支援10%、広告その他5%。



大企業を中心にクラウドサインの導入が拡大

22.3期・第1四半期(4-6月)の業績は売上高が15億3,700万円、前年同期比33%増、営業利益は2億1,600万円と、前年同期の29倍となった。有料登録企業数が順調に増加したクラウドサインが大幅に伸長し、業績をけん引した。一方、弁護士ドットコムでは有料登録弁護士数、個人の有料会員数ともに減少した。ただし、個人の減少はOEMで提供していたLINE法律相談の終了の影響など一時的な要因によるもので、足元ではアクセス数の回復に伴い有料会員は純増ペースに戻りつつある模様。

22.3期の会社計画は売上高が70億円。営業利益以下は市場環境の急速な変化に対応した機動的な投資判断が必要との観点から非開示だが、営業利益は黒字を確保するとしている。急成長しているクラウドサインは大企業を中心に導入が進んでいる。10月より機能を拡充した3つの新料金プランでの提供を開始する予定で、内部統制機能の追加で新規顧客の獲得が期待される。また、導入前後のコンサルタントサービスも開始しており、事業拡大が見込めよう。今期は連携パートナーの拡大に注力しており、クラウドサインと親和性の高い各社の契約管理サービスと連携することで、契約準備から締結、管理までシームレスなサービス提供を目指す。

【株価動向・投資判断】

導入が拡大しているクラウドサインの収益化で、業績の拡大が期待される。

<6027 弁護士COM 業績:単独>

[今期予想の配当金は発行会社予想]

	売上高	営業利益	経常利益	当期利益	1株利益	1株配当
	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	円	円
20.3	4,132 (32)	392 (▲ 23)	395 (▲ 23)	260 (▲ 22)	11.7	0.00
21.3	5,318 (29)	172 (▲ 56)	182 (▲ 54)	64 (▲ 75)	2.9	0.00
22.3 予	7,000 (-)	- (-)	- (-)	- (-)	-	0.00

(注1) 市場環境の急速な変化に対応した機動的な投資判断が必要との観点から、営業利益以下の各利益の具体的な金額予想は非開示
(注2) 22.3期の期首より「収益認識に関する会計基準」が適用されるため、売上高の伸び率は「-」表示



【主要株価指標】 (売買単位：100株)

株価 (2021/9/3)	6,560 円
年初来高値 (高値日)	13,290 円 (21/1/26)
同 安値 (安値日)	5,500 円 (21/8/17)
予想 P E R (22.3 予)	- 倍
1株株主資本 (PBR算出用)	104.7 円
P B R	62.63 倍
予想配当利回り	0.00 %
(1株当たり配当金年0.00円)	
R O E (21.3)	3.0 %
発行済み株式数	2,226 万株